



学会ホームページ <http://jasce.jp>

055号 (2020年3月28日)

目次

- 第17回全国大会に関する案内
『協同と教育』特集論文募集
『協同と教育』への投稿募集中
会員情報の変更届け
会費の納入のお願い
学会ワークショップ
今後の予定 (判明分)
中止になった学会ワークショップ
(報告)
各地の研究会・勉強会
中止になった研究会・勉強会
(報告)
出版情報
ショートレター (会員からの投稿記事)

第17回全国大会に関する案内

第17回大会は、令和2年10月30日(金)～11月1日(日)の3日間、「多様性を育む協同教育」をテーマに比治山大学(広島県広島市)で開催されます。佐々木実行委員長の挨拶や参加申し込みの流れなど、4月上旬から本学会のWebページで案内をしていく予定です。

『協同と教育』特集論文募集

『協同と教育』第16号(2021年3月発行予定)において「特別支援教育と協同教育」に関する特集を予定しています。つきましては、以下の通り、会員のみならずからの執筆も募集しますので、障害のある子どもや大

人を含む集団における協同学習や、ゲームや行事等の協同的な活動に関する研究(幼児から大学生、社会人まで、また社会教育や福祉・労働等の分野の研究も含む)など、関連するテーマで研究を進められている会員のみならずはふるってご応募下さい。

応募を希望する方は、下記スケジュールに沿って、必要なものをご提出ください。

なお、特集論文も査読を行いますので採択された場合は査読論文として業績になります。

- ・2020年4月末日 事前エントリー：タイトル・著者名・キーワード(3～5つ)・アブストラクト(300字程度)の提出。
- ・2020年8月20日 原稿締め切り：原稿形式は『協同と教育』執筆・投稿規程における「研究論文」「実践研究論文」の形式に従う。
- ・2020年9月～10月 審査結果返送：この時点で「採択」もしくは「修正採択」の結果が出たものを特集号に掲載する。
- ・2020年12月中旬 適宜修正した上で最終原稿提出。
(お問い合わせならびに事前エントリーは、editor@jasce.jpまでご連絡ください。)

『協同と教育』への投稿募集中

上記の特集論文以外にも、『協同と教育』への投稿を随時受け付けています。通常論文の投稿に締め切り

はありません。投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常数ヶ月を要します。

編集委員会では学会機関誌『協同と教育』第16号(2021年3月発行予定)に向けての積極的な投稿をお待ちしております。

会員情報の変更届け

年度がわりの異動や転居などにもなると、所属・住所・メールアドレス等の変更があった場合、すみやかに会員情報変更をお願いします。届け出は学会Webページの「会員情報変更フォーム」から随時可能です。
(<https://www.jasce.jp/php/1044form.php>)

会費の納入のお願い

本年度の会費4,000円を納入していない会員の方は、早急の納入をお願いいたします。次の口座にお振込み下さい。3年度を超えて会費が未納となった場合、自動的に退会扱いとなりますのでご注意ください。

◇銀行振込の場合

金融機関名 ゆうちょ銀行
支店 ○一九
口座番号 (当座) 0315442
名義 日本協同教育学会

◇郵便局で「振込取扱票」をお使いの場合

口座記号・番号 00100-8-315442
加入者名 日本協同教育学会

JASCE

学会ワークショップ 今後の予定(判明分) <ベーシック>

2020年6月以降

【名古屋・東海地域運営】

会場：大阪YMCA国際専門学校
(大阪市)

講師：サルバション有紀・石田裕久

2020年7月18日(土)～19日(日)

【主催】

会場：創価大学(八王子市)

講師：未定

2020年8月1日(土)～2日(日)

【主催】

会場：中村学園大学(福岡市)

講師：野上俊一・安永悟

2020年8月22日(土)、23日(日)

【公認】

会場：南山大学(名古屋市)

講師：和田珠実・石田裕久

2020年8月22日(土)、23日(日)

【主催】

会場：比治山大学(広島市)

講師：安永悟・須藤文

2020年11月以降(未定)

【主催】

会場：東海学園大学(名古屋市)

講師：未定

2020年11月14日(土)～15日(日)

【主催】

会場：学校法人湘中央学園浦添看護学校(沖縄県浦添市)

講師：安永悟・須藤文

2021年3月(未定)

【主催】

会場：創価大学(八王子市)

講師：未定

<アドバンス>

2020年7月18日(土)～19日(日)

【主催】

会場：創価大学(八王子市)

講師：未定

2020年11月7日(土)～8日(日)

【公認】

会場：南山大学(名古屋市)

講師：長濱文与・石田裕久

2021年3月(未定)

【主催】

会場：創価大学(八王子市)

講師：未定

<マスター>

2021年3月6日(土)～7日(日)

【主催】

会場：久留米大学(久留米市)

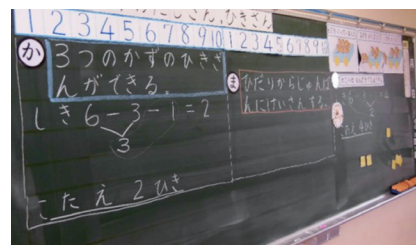
講師：JASCE研修委員および理事

各地の研究会・勉強会

(北海道地域)

協同でつくる学校、学級、授業づくり研修会

◇1月25日(土)13時00分より17時00分の間、39名の参加者を見て北海道の教育を高める有志の会(主催：校長会、教頭会、教育行政職の有志)による「協同でつくる学校、学級、授業づくり研修会」を北海道空知管内南幌小学校にて開催しました。4月より完全実施となる小学校の学習指導要領ですが、その適切な進め方への理解を求めて北海道各地より参加頂きました。当日は兼ねてからの要望により、DVDによる授業分析を行ないました。素材は学校訪問の折り返して頂いた協同学習による小学校1年生の算数の授業です。研修会は単元計画重視の意義と作成方法を説明しながら、学習過程を中心



授業分析の板書

《中止になった学会ワークショップ(報告)》

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、以下のワークショップは中止になりましたので報告します。

<ベーシック>

3月14日(土)～15日(日)

【主催】 東海学園大学名古屋キャンパス(名古屋市)

3月21日(土)～22日(日)

【主催】 創価大学(八王子市)

3月28日(土)～29日(日)

【主催】 浦添看護学校(沖縄県浦添市)

<アドバンス>

3月21日(土)～22日(日)

【主催】 創価大学(八王子市)

JASCE



研修の様子

に段階ごと（導入、展開、終末）に映像を止め、グループワークと全体交流を中心に進めました。当初、授業を分析的に捉えることに慣れていない様子が見られましたが、協同による学習の進め方、子どもの動き、教師のはたらきかけについて具体的な意見を交流することができ、「実際の授業を見ることで、どのように学習を進めるのか理解を深めることができた」と研修アンケートに数多く記載されていました。終了後は、遠路から来られた方を含め和やかに懇親会を行いました。

連絡先：石垣則昭（北海道医療大学心理科学部
ishigaki7634@dream.bbexcite.jp）

（大阪地域）

協同学習を用いた看護教育研究会

◇年度末から新年度へと慌ただしい時期にあります。皆様お元気にお過ご

しでしょうか。パンデミックとなった新型コロナウイルスの影響で、様々な予定がミノ倒しのように中止になっていく中で、教育現場も勇気ある速やかで尚且つ柔軟な判断が求められる日々です。

大阪の研究会は3月を休会とし5月は22日（金）に勉強会（講師：中村文子先生）を予定しております。開催の決定と詳細な内容につきましては、5月の連休明けを目途にご案内をさせていただき予定しておりますので宜しくお願い申し上げます。

2020年度の研究会開催は、5月22日、7月24日、9月18日は会場確保ができています。11月以降は11月27日、1月29日、3月19日を予定しておりますが、会場の予約中です。次回、皆様と元気に安心して集い合えることを楽しみにしております。

連絡先：緒方巧（4月より梅花女子大学看護保健学部非常勤講師
t-ogata@baika.ac.jp）

（岡山・中国方面）

協同学習研究会（岡山）

◇次年度の開催予定

日程及び発表者：2020年7月18日（土）、8月29日（土）、12月5日（土）、2021年2月27日（土）。いずれも土曜日の14時～17時30分です。発

表を希望される方は下記連絡先にメールをお願いします。

会場：岡山大学教師教育開発センター東山ランチ（附属学校園のある東山地区です）

(http://www.okayama-u.ac.jp/user/cted/access_higashiyama.html)

連絡先：高旗浩志（岡山大学教師教育開発センター

takahata@okayama-u.ac.jp）

（福岡・九州方面）

授業づくり研究会・協同教育フェスタ

◇今後の開催予定

授業づくり研究会は、5月16日（土）、10月10日（土）、12月12日（土）に、久留米大学御井キャンパス 御井学生会館3階ミーティング＝ルーム3で開催する予定です。また、協同教育フェスタは、7月25日（土）に開催予定です。会場は授業づくり研究会と同じです。

◇参加申込方法

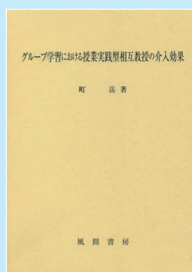
授業づくり研究会・協同教育フェスタ両方とも、参加希望者は協同教育研究所「結風」のHP (<http://yuikaji.me/wiki.cgi>) から申し込んでください。

連絡先：安永悟（久留米大学
yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp）

● 出版情報

グループ学習における授業実践型相互教授の介入効果

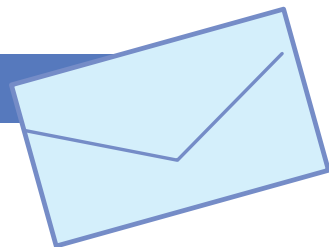
協同学習を成立させる「授業実践型相互教授」について、その理論的背景や枠組み、授業実践を通して検証した学業的・社会的側面への効果について論じています。町岳著。風間書房。



《中止になった研究会・勉強会（報告）》

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、ニューズレターでご案内していた以下の勉強会・研究会は中止になりましたので報告します。

- ・大阪地域…3月13日「協同学習を用いた看護教育研究会」
- ・岡山・中国方面…2月29日「協同学習研究会」
- ・福岡・九州方面…2月29日「授業づくり研究会」



「単元見通し学習」

「ここまで自主的・自律的に授業を進めることができるのか!」小学校5年の国語の授業を観て驚きました。何より子どもが学びを我が事として意見を述べているのです。中学校や高校でもこのような授業展開をすれば、生徒が生き生きと学び確実に力を付けていくことは間違いありません。

ちょうど前日の夕方に政府からコロナウイルスによる休校措置が発表されたので、その日(2月28日)は、今年度最後の授業日になっていました。学校中の教室が持ち物の整理や後片付け等に追われ慌ただしい雰囲気に満ちていましたが、この教室だけはその喧噪とは無縁で「主体的・対話的で深い学び」に至る授業を展開していました。

仕掛けはこの授業が「単元見通し学習」で計画されていることにありました。単元見通し学習は子どものアクティブな学びづくりにとても有効です。「単元見通しの授業は、小集団による児童生徒の主体的な学習活動を軸としてすすめられる。教師の出番は課題の指示と学習事項のまとめに限られる。したがって児童生徒の学習の方向づけは、時間の当初に明確に行わなくてはならない。つまり、明確化の工夫を予め十分におこなうてはならないのである。(中略)このような徹底した事前の教師の準備は、教師の指導活動をも明確に方向づける。そして児童生徒の認識との間のズレも小さいものとなる」(杉江修治編著『バ

ズ・単元見通し学習の理論と実践事例』p.9)。今どき1時限単位で授業を計画する教師はいないでしょう。しかし、単元に入る前に学習に必要な全ての内容(単元の学習課題と下位の学習課題、学び方、資料や使用するワークシート、振り返りや確認テスト等)を徹底的に準備して取り組む教師も、多忙な義務教育では少ないでしょう。

前述の5年生の授業に話を戻します。授業開始早々、当番児童が前に立ち、前時の学習内容を全員で確認し、板書してある本時の学習課題を全員で読み上げました。その後、本時の場面をグループで順番に音読。続いて課題に沿って個人で読み取り(音読+読み取りで10分)。次に読み取ったことをグループ4人で交流(12分)。教師はここまで一言も発していません。それは本時の学習の流れが黒板に掲示してあり、児童が学習の進め方を理解して見通しをもって活動しているからです。話し合いは6つある全てのグループで、12分間、交互に熱心に意見を述べ合っていました。グループ読みの後は、グループで深め合った意見をもとに全体で意見交流をしました。この時、児童は教室の中心に向かって同心円を描くような隊形に机を移動しました。全体交流は相互指名で行われ13分間途切れることなく意見が出続けました。しかも、発表は単語や一文ではなく、自分の考えを伝えるためにしっかりと

文章で話していました。教師は、時折、学習課題に戻すような発問をするに止め、児童が話し合いで学びを深めていくのを見守っていました。この後、机を元のグループ隊形に戻し、もう一度グループで読み取りを確認してから振り返りに移りました(8分)。このように教師主導でなくても児童が本時の課題に迫ることができるのは、何を学ぶか、どのように学ぶのかをきちんと理解して、既習事項と新しい学習事項を結び付け話し合いを通して頭の中で整理していたからでしょう。単元見通し学習だからこそ引き出すことができる学びです。今年度の最終日だというのに浮き足立つことなく、全員が45分間学びきったことに大きな拍手を送りたくりました。

新学習指導要領では育成する資質・能力として「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」をあげています。この日の授業は、その授業提案の一つになります。今後、小・中・高の教育現場で様々な授業が提案されると思いますが、目先の手法に飛びつくことなく「目ざす子ども像」を明確にし「自主・自律・協同」の学びをベースに置いた取り組みが重要です。一人一人が仲間全員の成長を願って真剣に取り組む協同学習を、今後さらに広めていかなければなりません。

(水谷 茂)